



# わたしの学校 ぼくの学校

## 全校外国語活動 ～ハッピーハロウィン～

麦川小学校



本校では、「Good morning」という放送委員会児童の挨拶で一日が始まります。また、学期に1回、全校外国語活動に取り組んでいます。

10月23日㈫には、外国語指導助手のアダム・ノーブル先生に「ハロウィン」の話を聞き、日本と異なる文化について学習しました。そして、仮装した児童は教師の所へ行きました。

「trick or treat!」と笑顔で話しかけながら、児童にとって、ますます外国語活動が好きになっていく時間でした。

## 基礎を確実に身に付けよう! ～数学基礎講座の実施～

秋芳南中学校

8月7日㈫から9日㈬の3日間、数学の基礎を確実に身に付けるため、近隣の小学校の応援も得て、補充学習をおこないました。

生徒たちが自分たちのつまずきに気づき、問題が解けるようになったときのうれしそうな顔が印象的でした。

また、この講座は、数学の学習指導を通して、小学校と中学校の教員が、生徒たちの成長ぶりを話し合ったり、互いの指導方法について理解を深めたり、小中連携の場にもなっています。



## 響け!私たちの声 ～心を一つに!～

桃木小学校

毎週木曜日の朝、ミュージックタイムがあります。全校児童が多目的ルームに集まり、「今月の歌」を声を合わせて歌います。桃木小の子どもたちは、みんな歌が大好きです。時には二部合唱、三部合唱と難しい歌にも挑戦します。

合唱は、6年生がリードして、徐々にきれいなハーモニーになっていきます。下級生も上級生と一緒に練習を続けていくうちに、音程や声の響きもどんどんよくなってきました。これからも心を一つに、元気な歌声をみなさんへ届けていきます。



## 美祢市教委から発信します

**ふるさと美祢から  
世界へ羽ばたけ!**  
**～合言葉は「誇り・志・挑戦」～**  
**「美祢子ども交流塾」**



美祢人財育成事業の一環として、「ふるさと学習」「国際理解教育」「キャリア教育」などを通じて、地域の次代を支える「美祢の子」を育てるため、「美祢子ども交流塾」を今年度開講しました。

市内各小・中学校代表の児童・生徒が集まり、月1回程度活動しています。これまでTYSアナウンサーの佐藤けいさんの講演会や、夏休みに3泊4日のキャンプ等を実施しました。

また、今までの取組の成果を、11月3日㈯に開催された「生涯学習フェスタ」のオープニングイベントで発表しました。様々な活動を通して、リーダーとしての資質を身につけ、ふるさと美祢から世界へ羽ばたく子どもたちを育てたいと考えています。

## 安心・安全なまちづくりをこれからも！

10月11日、柳井市で開催された「犯罪のないまちづくり県民大会」で、警察庁長官・全国防犯協会連合会会長表彰として、防犯栄誉銀章を受章された山本昌二（美東町）さんが、報告のため市役所を訪れました。

地域の見守り活動を始めて今年で40年目を迎えた山本さんは受賞について、「地域の皆さんの協力があってこそこの受賞だと思う。今後も安心・安全なまちづくりを目指し頑張りたい。」と述べられました。



10/30  
火

## 音訣虹の会 厚生労働大臣表彰受賞

10月26日、県庁で厚生労働省関係の団体表彰があり、ボランティア功労者として表彰を受けた音訣虹の会が受賞報告に来庁されました。

現在は10人で活動している音訣虹の会代表の加納光江さんは、「音訣活動を続けて30年になる。これまでの皆さんの活動が認められて嬉しいと思う。」と述べられ、村田市長は、「目の不自由な人のため地道な活動を続けて来られて感謝しています。」と申しました。

## 山口ヤクルト販売（株）から寄附金をいただきました

山口ヤクルト販売（株）の野中富成社長ほか5人が来庁され、美祢市に60,000円を寄附されました。

山口ヤクルト販売からは、美祢市の「緑のカーテン」事業支援を目的に2010年から毎年寄附をいただいています。

10/31  
水



## 平成24年秋の叙勲及び第19回危険業務従事者叙勲受章者

長年の消防団活動の功績を認められ、恵本久登さん（於福町）と山下時夫さん（美東町）が瑞宝単光章を受章されました。



恵本さんは、昭和41年美祢市消防団に入団以来、消防団員として44年間、消防人として数多くの災害現場で活躍をされました。副団長を拝命後は消防団活動を円滑に遂行するために尽力され、火災予防思想の普及など多年の経験を遺憾なく発揮され、地域住民に信頼される消防に多大な貢献をされました。

**消防功労**  
瑞宝単光章 えもと 恵本 ひさと 久登 氏（元美祢市消防団 副団長）  
瑞宝単光章 やました 山下 ときお 時夫 氏（元美東町消防団 分団長）



山下さんは、昭和37年以来、消防団員として40年間、消防人として数多くの災害現場で活躍をされました。分団長拝命後は、消防の使命達成のため、消防の水利の確保などの消防施設の拡充強化及び火災予防の普及に力を注ぐなど防火思想の高揚に努められ、積極的に消防の推進に尽力されました。